

行政報告（平成28年12月定例会）

町長から行政運営について報告がありました。

町政懇談会	幅広い町民意見に耳を傾けるため、今まで平日夜間のみ開催していた懇談会を今年度は平日の昼間、休日を加え、3地区、5回開催いたしました。昨年よりも参加人数こそ少ない状況でしたが、子育て世帯の保護者や女性の参加者が増えるなど一定の効果があったと考えています。いただいたご意見は、今後の町政運営に生かしてまいります。
中井中央公園拠点整備	公園利用者の満足度を高める寛ぎの施設として、また、里都まちなかい魅力創生の各種プロジェクトを推進するフラッグシップ機能を司る拠点として、来春の竣工をめざし整備に着手しました。今後も魅力創生ニュース等を通じて、逐次、情報提供に努めてまいります。
里都まちなかい魅力創生プロジェクト	里都まちスポーツプロジェクトにおいては、支援者を選定し町の地域資源を活用した新たなスポーツイベントを3月に開催する準備を進めております。 里都まちブランドプロジェクトについては、町の特産品を使ったブランド開発に、6件のブランド提案を採択し、試作品の開発が始まっています。先月27日にはブランド開発セミナーを開催し多くの方に受講していただきました。
指定避難所宿泊訓練	10月29日、30日の2日間、井ノ口小学校体育館を会場として、災害時を想定した環境下で井ノ口地区の住民の方を対象に実施いたしました。災害時に避難所を開設した際に利用する簡易間仕切りによる宿泊体験とともに、避難所開設訓練、避難所運営図上訓練、救急救護訓練などを実施しました。参加者からは、宿泊経験や避難所開設訓練などで得た知識などを、今後の災害対応に役立てていきたいとの意見もいただき、防災意識の高揚を図ることができました。
「まちづくりパートナー」制度	現在8つの団体と120人の個人の方に登録いただいております。本年度は1事業に対し11名が「まちづくりパートナー」として参加いただきました。また、「まちづくり活動支援補助金」制度については、現在まで、地域活性化や文化振興事業など4件の申請に、約31万円の支援を決定しています。
ファミリーサポートセンター事業	子育てを手助けして欲しい人と、子育てを手伝いたい人をつなぎ、育児を地域で助け合う事業として本年7月より開始し、現在、会員数は14名で援助活動も始まっております。引き続き、制度の周知、会員募集など事業の推進に努めてまいります。
美・緑なかいフェスティバル2016	10月16日に開催し、町内外から1万人を超える来場者で賑わいました。今年は、町出身のミュージシャンが司会やステージ演出などで彩りを添え、子どもからお年寄りまで多くの方に楽しんでいただき、成功裏に終えることができました。

農産物品評会	<p>11月26日、27日の2日間、本町で生産された農産物を一堂に集め開催しました。これは生産技術の成果を競い、生産意欲の高揚と良質・安全・安心な農産物を消費者へPRすることで、地産地消の推進、地域農業の活性化をめざすものです。今年、農産物が292品、加工品が34品出展され、品種・品質・品数において、他市町以上に優れていると評価をいただきました。</p>
道路改良事業	<p>大久保地区の道路整備に向けた測量業務を発注しました。また、井ノ口歩道橋の調査業務を発注し、耐震性の検証作業を実施しているほか、橋りょう維持補修では、県道71号（秦野二宮）バイパスを跨ぐ大方陸橋の断面補修等を実施いたします。</p>
地籍調査事業	<p>10月に現地調査を実施した遠藤・北田・田中地区の閲覧作業を2月に予定しているほか、比奈窪・雑色・松本地区の一部の基準点測量・登記資料調査業務を1月より実施する予定です。</p>
中井子どもエネルギーサミット	<p>11月7日、8日には、環境教育学習の一環として、中井メガソーラー発電所で両小学校の5・6年生を対象に開催されました。</p> <p>展望台から一面に広がる太陽光パネルを見下ろした子ども達は、「電気を作るのに、こんなに沢山の太陽光パネルが必要なのか」と驚いた様子で、地球温暖化防止に役立つ太陽光や風力など、自然エネルギーへの理解を深めることができました。</p>
下水道事業	<p>今年度の計画区域である下井ノ口、五分一地区については予定どおり事業を推進しています。</p>
水道事業	<p>下水道工事で支障となる水道管の移設工事を下水道工事に併せ進めております。また、設置から17年が経過した大久保取水場の送水ポンプ更新工事を発注いたしました。</p>